

平成28年3月18日

保護者様

荒尾市立平井小学校

校長 芦村 伸也

平成27年度学校評価について

早春の候、保護者の皆様におかれましては日頃よりご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本校では今年度も学校評価を行いました。1月末に実施しました児童・保護者のアンケート結果と対策のまとめについては下のとおりです。

なお、アンケート集計データ、教職員の自己評価、学校関係者評価の結果については、平井小ホームページをご覧ください。

これらの結果を次年度の学校経営に生かしていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

### 保護者アンケート結果分析と対策

後期は、前期アンケートの項目に「子どもは、各学年相応の時間以上、家庭で学習する習慣が身に付いている」を新たに加え、合計18項目でアンケートを実施しました。

#### ◎ 評価が高かった項目

【「よくあてまる」と「あてはまる」を合わせた数が9割以上】という高い評価が18項目中13項目ありました。

この13項目中、平均値（ $1 \leq x \leq 4$ ）が最も高かったものから上位3項目は、つぎのとおりで、いずれも前期結果と同様の内容でした。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 「子どもは楽しく学校に通っている」               |
| 2 「保護者として授業参観等の行事に積極的に参加している」     |
| 3 「学校は授業参観や行事などに参加しやすいように呼びかけている」 |

#### ▲ 課題のあった項目

【「あまり当てはまらない」「当てはまらない」を合わせた数が2割以上】は18項目中1項目で、平均値（ $1 \leq x \leq 4$ ）が3点を下回ったのが3項目ありました。低い順につきのとおりです。

- |   |
|---|
| 1 「子どもは各学年相応の時間以上、家庭で学習する習慣が身に付いている」    |
| 2 「子どもはいじめや人権侵害を受けているときそれを止める姿がある」      |
| 3 「子どもは基本的なマナー（あいさつ・言葉遣い・後始末等）を身に付けている」 |

#### 課題改善のための対策（上記1～3対応）

##### 課題1について

家庭学習の習慣は、基本的な生活習慣の定着と密接な関係があると考えられます。また、学力向上に欠かせない要素です。メディアコントロールの取組の強化、家庭読書の取組、宿題の家庭との共有化、自主学習の意欲を高める取組など、学校全体として具体策を出し家庭と連携して習慣化を図っていきます。
---

##### 課題2について

今後も毎月いじめ防止アンケート（スマッピーチェック）を行い、いじめの早期発見・早期解消に努めながら、いじめの定義や傍観者＝いじめであることなど確実に理解させる授業や講話等を通して学校全体でいじめを許さない雰囲気を作り、自らいじめを無くしてこうとする児童を育てていきます。
---

### 課題3について

あいさつ・言葉遣い・後始末といった基本的なマナーの定着は、毎日繰り返して指導する必要があります。全職員が共通意識を持ち徹底指導をすること、児童会活動等を通じて児童が自主的にマナーを守る取組をするなどして集中的に学校全体として組織的に改善に取り組みます。同様に各家庭や地域の方々にも協力を呼びかけていきます。

## 後期 児童アンケート結果分析と対策

前期同様、合計22項目で児童アンケートを実施しました。

### ◎ 評価が高かった項目

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせて95%を超えた項目は8項目で、前期より4項目増えました。この中で平均値（ $1 \leq x \leq 4$ ）が最も高かったものから上位6項目は、僅差でつぎのとおりです。内容は前期と同様でした。

- 1 「登下校や日常での交通事故に気を付けている」
- 2 「学校は、分かりやすく勉強を教えてくれる」
- 3 「学校は、自分や相手の心を大切にしたり、命を大切にすることを教えてくれる」
- 4 「学校は自分が努力したことをほめたり、認めたりしてくれる」
- 5 「学校は、決まりや約束を大切にするようにいつも注意してくれる」
- 6 「学校は、いじめや困っているときに相談にのってくれる」

### ▲ 課題のあった項目

平均値（ $1 \leq x \leq 4$ ）が最も低かった項目と「あまり当てはまらない」「あてはまらない」が25%以上の2項目は、前期と同じ内容でつぎのとおりでした。

- 1 「宿題や学習用具の忘れ物をしていない」3.06（前期 3.07）↓
- 2 「よく読書をしている」3.11（前期 3.06）↑
- 3 「自分の考えや思いをはっきり相手に伝えている」3.26（前期 3.43）↓

## 課題改善のための対策（上記1～3対応）

### 課題1・2について

重要課題3項目中、2項目が「たしかな学力」に関するものでした。家庭での学習習慣、読書習慣ができていない児童が2割～3割程度見られます。ただ「毎日家庭で決められた時間以上の時間、学習している」の項目は前期より若干伸びています。学校全体としてはメディアコントロールの取組の強化、読書意欲や学習意欲を高める宿題の工夫を行うとともに、家庭との連携の下、学校での個別指導を行い、たしかな学力の定着に取り組みます。

### 課題3について

人権教育の視点としてコミュニケーションスキルを高める取組を全校的に1年を通して行ってきましたが、自分の考えや思いをはっきり相手に（あまり）伝えていないとする児童が全体の約1/4、29名います。

各教科の授業の中でも、大きな声ではっきり自分の考えを発表する学習をこれからも継続していきます。また、認め、褒め、励まして、何でも言える学級、学校の雰囲気作りを推進していきます。